

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 21 年 6 月 15 日(月)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 10 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 21 年度第 3 回)		
出席者	田中明会長、石坂副会長、荒木委員、石井委員、石黒委員、岩木委員、岡村委員、金井委員、木内委員、清水委員、竹内委員、竹田委員、中村委員、西村委員、宮崎昭子委員、宮崎勝義委員、宮島委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員 (欠席委員)西川委員 (事務局)山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査 (説明者)足立保育課課長、清水保育課課長補佐、宮沢保育課主査		
会議次第			
1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ 前回は JT 跡地の説明を受けた。時間の都合で分科会は開催できなかった。前回、今まで分科会を行ってきた際に、流れ解散的に終わらせていた。4 つの分科会の会議の中身を、委員全員が共有しあうほうがいいのではないかという意見が出された。今日は分科会としての中間報告を頂くことになっている。今後は、徐々にそれぞれの課題(テーマ)で詰めの段階に入ってくる。大変ではあるがよろしく願いたい。			
3 会議事項			
(1) 泉田保育園・小泉保育園の統合園の建設について 資料:「関連保育園の概要」より保育課から説明 【質疑応答】 (委員)周囲の道路状況について検討しているのか。 (担当課)地元の皆さんからも要望を頂いているので、検討中である。 (委員)水路に関しては、U字溝をふさぐのではなく、上のほうは石積みにして蛸など飛び交うようにしてはどうか。 (担当課)U字溝から石積みの形にすると、工事費等の問題もあるので予算的に厳しいと考えている。 (委員)90名の定員を予定しているようだが、駐車スペースが16台ではどうなのか。 (担当課)大きいものに越したことはないが、常時停めておくのは先生方だけなので、他園とのバランスからみても適当ではないかと考える。 (委員)前回の説明で今後の考え方について、運営に当たっては直営・指定管理・民間によるなどが考えられるので、地元関係者や保護者会と協議を重ねる中で、方向を決めていきたい、との内容だった。検討委員会を立ち上げるとすれば、いつ			

頃になるのか、明確な方針を教えてください。

(担当課) これから補正予算を計上して建設していくとなると、市で運営していく形になる。

上田市の保育検討委員会では、保育のあり方や質、設備の問題等話し合ってきた。今後保育園の統廃合、民営化という問題の検討に入ってくる。

どのような形になるかわからないが、地元の皆さんのご意見をお聞きしながら進めてまいりたい。

(委員) 6月1日号の広報に子ども未来部の重点目標もあった。その中で、多子世帯の経済的な負担軽減を図るとあるが、何人以上を指しているのか。

(担当課) 2人以上を指している。

(2) 各分科会からの中間報告について

ア．第4分科会 ～地域で子どもを育てるまちづくり～

【報告要旨】

- ・ 新しくなる保育園の運営について、機会があれば要望をまとめて保育課に提案を申し上げたい。延長保育の問題は特にお願いをしたい。
- ・ 子ども達が親に愛されている、このまちに愛されているという自覚をもてるようなまちづくりをテーマに、今後進めてまいりたい。
- ・ 放課後児童の問題については、多くの働くお母さんがいる(増えている)ので重要な問題になる。今後検討を継続していきたい。
- ・ 学童保育の状況について

城下小学校の学童保育がいっぱいで、児童館へ行かなくてはならない状況にある。たんぼぼの家は44名定員に対し47名が登録。朝日ヶ丘児童館では24名が登録の状況。

南小学校ではトットの家が定員69名に対し現在62名が登録となっている。川辺児童センターは60名が登録している。みのり保育園では卒園児のみ学童保育を行っている。

川辺小学校のバッタの家では定員38名に対して40名が登録。小学校内にある川辺児童クラブでは94名の児童が登録。

【主な質疑等】

(委員) 朝日ヶ丘の児童館の登録が24名とお聞きしたが、常時利用している児童が24名なのか。

(担当者) 学校教育課の登録人数が24名になっている。実際に来ている子どもたちの人数ではない。

(委員) もっと多くの登録者がいるのではないか。

(担当委員) 朝日ヶ丘の自治会長さんから頂いた資料から説明する。朝日ヶ丘の児童館では月に800人から少ない時で450人位利用されている。年間7800人位利用されている。

イ．第1分科会 ～上田道と川の駅を活用した地域振興と地域防災拠点作り～

【報告要旨】

- ・「上田道と川の駅」に関しては、既に意見書の提出がされているところである。現在、「上田道と川の駅」施設の実施設計に入り、着工される。国で進めているところも、今年着工すると聞いている。7月か8月の上旬辺りに担当課に来ていただき、協議会で進捗状況等を報告していただく。

ウ．第2分科会 ～人や自然にやさしい交通機能の整備～

【報告要旨】

資料「川辺町国分線標準断面図」「別所線の概要」「乗って残そう戦略プロジェクト実績報告書（20年度）」より説明

- ・川辺町国分線を視察し、詳しい説明をお聞きした。工事は1年から1年半遅れている状況である。現在の状況では道幅が狭く、緊急車両も通りにくい。早期の開通が望まれるところである。
- ・上田電鉄の本社で説明を受けた。別所線に関しては、様々な支援を受けながら運営を行っている。長年乗客の減少が続いていたが3年前くらいから乗客が増えてきている。自治会回数券を販売する4月と10月に売り上げが多くなっている。「乗って残そう戦略プロジェクト」ということでいろいろな活動もしている。

【主な質疑等】

- (委員) 川西支所に鹿教湯の施設を作っているのをご存知と思う。別所線を使い、上田原駅で乗換えということになると思うが、上田原駅のバス乗り場を改良して欲しい。要望を出せないか。
- (担当委員) 個人では難しいので、まとめていただき、出していただいたほうがいいと思う。私も話してみる。
- (委員) 先日偶然、アーティストのプロモーションビデオに別所線が映っていた。ロケに来たことをPRしたら、若い人も来るのではないか。
- (委員) 上田橋から青木に向かう道路で、八十二銀行三好町支店までは拡幅することが確定しているが、途中の部分が切れて上田原からまた広がる。城南地域で考えると、全体をきちんと整備している印象を受けない。意見書なり要望書を提出してもらったほうがいいのではないか。
- (会長) 八十二銀行三好町支店までの拡幅については、地元として対策委員会ができて活動している。その先は中之条と御所の領域になるが、赤坂上のところまで通して整備をしたいという思いを私は持っている。
- (委員) 三好町や御所でも検討しているが、なかなか進まないらしい。
- (会長) アリオ建設に関しての渋滞緩和をしっかりと考えていきたい。

エ．第3分科会 ～歴史・地域的資源の活用～

～自然と共生を目指す里山と農地の保全～

【報告要旨】

- ・上田市の総合計画における地域まちづくり方針の中で、自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全 歴史的・地域的資源の保全と活用 の2つを検討している。
- ・地域の宝を再認識・再発見するために、まち歩きをしてきた。これまでに5回のまち歩きをし、城南地域の3分の2を歩いた。あと2回のまち歩きで城南地域全体を歩くことができる。
- ・「(仮称)城南地域まち歩きマップ」の原案を作りたいと考えている。
- ・城南公民館の講座として、休憩場所・トイレの解説(案内)を含めた歩く人に優しい城南地域まち歩き講座を開催したい。(開催の要望をしていきたい)
- ・案内板や説明板の設置等、要望書として提出していきたい。

別所線の各駅を起点終点とした案内板

道と川の駅を起点終点とした案内板

ため池の景観を活かした説明板(ため池の水源と潤す地域等の説明)

【主な質疑等】

- (委員)まとまった資料を、協議会として誰に、どこに対して提言していくか。まち歩きマップの原案を作ることは素晴らしいが、協議会で作成するものなのかどうか。協議会できっかけを作り、自治会などで作成できたら素晴らしいと思う。
- (担当委員)最初のうちは意見や要望を述べていくと思うが、ある程度叶えられたときには、自分たちで実現していきたいと変わっていくのではないか。原案を作るということは、自分たちで動く初めの部分を作っておきたい気持ちがあった。
- (委員)市で持っている資産が結構ある。観光案内にしてもいくつか作られている。市や観光協会等も調べて、違う部分の提案をしていくほうがいいのではないか。
- (担当委員)地域でしかわからない歴史、建物、川等たくさんある。地域を1日で歩くというマップはない。城南地域として作成したい。
- (担当委員)まち歩きに際して、市で作成したマップや地域で作成したマップを参考に歩いてきた。案内板については、自分たちで見た地域の宝を案内板の中で表現していきたい。
- (会長)作成する際に、予算的な問題が出てくる。予算的な問題も含めて、城南地域協議会で要望という形で組み立てていかななくてはいけない。地域協議会として要望する予算措置をどうするか。
- (事務局)要望書を提出すれば、各担当課のほうから予算計上がなされる。看板を設置したいのではなく、看板を設置することによって地域振興がどう図れるかを考えていただきたい。
- (委員)わがまち魅力アップ応援事業だったら採択されると思う。しかし、審議をする側に我々はいない。マップに関しても行政ですでに作成しているものもあるので、そのものとの整合性を考えるところに協議会の役目があると思う。市民団体として地域協議会に提案されれば、我々は採択する側にまわればいいのか。
- (会長)4分科会で今のテーマを入れて、話し合っていて欲しい。
- (事務局)実際に作成するには、わがまち魅力アップ応援事業の補助金や、文化振興

課の直接予算をもらっていただいて、予算化してもらおう。地域協議会は実行部隊ではないということを、再認識していただきたい。地域振興のシステムづくりについて考え、提言していただきたい。

4 次回会議開催について

平成 21 年 7 月 22 日（水） 開催予定

5 分科会の開催

6 分科会の報告

ア．第 1 分科会

- ・ 7 月から 8 月上旬までには、市の担当課から説明に来ていただく。今後のソフト事業を進めるにあたっては、協議会の意見を聞いていただきたい。市のほうから検討の依頼があれば、そちらを優先的に検討していきたい。なければ、道と川の駅をどのように地域振興に役立てるか検討していきたい。

イ．第 2 分科会

- ・ 八十二銀行三好町支店のライン 143 号、赤坂上～川辺、泉田交差点右折ライン、ここまでを早期実現に向けて、各対策団体と協力しながら進めていきたい。
- ・ 別所線 上田原駅のロータリー化は、各方面に働きかけて進めていきたい。

ウ．第 3 分科会

- ・ 2 回のまち歩きの日程を決めた。
- ・ 協議会のスタンスについて話し合った。2 年間の任期の中で提案をして、自分たちの手で実現していくというのは、難しいのではないかと。今回の分科会の活動としては、まち歩きマップの原案を作成するが、地域協議会に対して意見書・要望書の形でお願いしたい。それが無理ならば、任期が終わった段階で市民団体を作り、提案していくことも考える、という話になった。

エ．第 4 分科会

- ・ 保育課から統合園の建設についてお聞きして、方向性について意見書を提出していくことになった。民間の保育園の経営も見学したい。
- ・ 児童館の問題についても、児童館等を見学して検討していきたい。

7 閉 会